

公益財団法人 J K A 「2022 年度福祉車両の整備補助事業」評価会議事録（抜粋）

開催日時 令和4年11月11日（金）午後3時から午後4時まで

開催場所 社会福祉法人明 港つぼみ作業所 3階多目的室

出席者 理事長 施設長 職員代表 利用者代表 保護者代表

1. 議事の経過

2. 議事の説明

3. 議事の概要

納車に遅れが生じたものの、駐車場所や体制の準備等が十分に行われ、検収後すぐに送迎車として稼働しているため評価できる。

多人数乗りで、リフトなどの特別装備はないが、手すりやスライドドアと連動した自動格納ステップが標準装備されているところが良い。

車体が大きいため、運行管理に注意が必要である。

競輪やオートレースの看板もプリントされており、安全な運転や清潔に保つなどの管理に配慮が必要である。

利用状況としてはグループホームと作業所の往復のため毎日稼働しており、意義のある運行状況になっている。

乗車人数や保有車両が整ったことで送迎ルートが増えても対応できるのではないかと。

これまで十分な車両を保有していなかったため、日程を分散させたり座席の配置に悩んだりして課外活動での苦労があったが、柔軟に移送できるようになったことで業務負担が軽減したと職員から報告を受けている。また、たくさん乗車できることで平等な活動機会の提供にもなっている。

外出への取り組みや課外活動はコロナ禍により中止しているものも多いが、感染状況などを踏まえて活動を再開・充実させていきたい。

利用者からは、広くて席に余裕があり乗降車しやすいとの意見がある。

車両にすでに馴染んでおり、シートベルトを自分で装着できる利用者が多く、エアコンの操作や換気のための窓開けもしている。

定められた報告や情報発信だけでなく、本車両を活用して行った行事や外出などはできるだけ発信していくべきであるとする。

コロナ禍の影響とはいえ、納車だけでなく、提出書類や情報発信もやや後ろ倒しになっている面があるため、余裕をもった手続きや情報発信を心掛ける必要がある。

4. 議事の決議

公益財団法人 J K A 補助事業を高く評価し、利用者・法人・事業所にとって有益である福祉車両導入を支持する。

運行管理責任者を中心に安全な運営に努め、余裕をもった手続きと情報発信に努める。

コロナ終息状況等を踏まえて課外活動の充実や必要に応じて送迎ルートの増設が期待できる。

5. その他

- (1) 出席者における車両・書類等の確認
- (2) 第三者評価の予定